

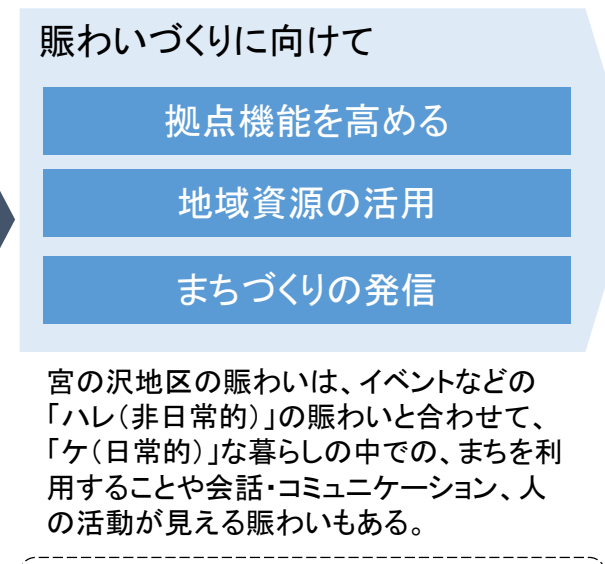
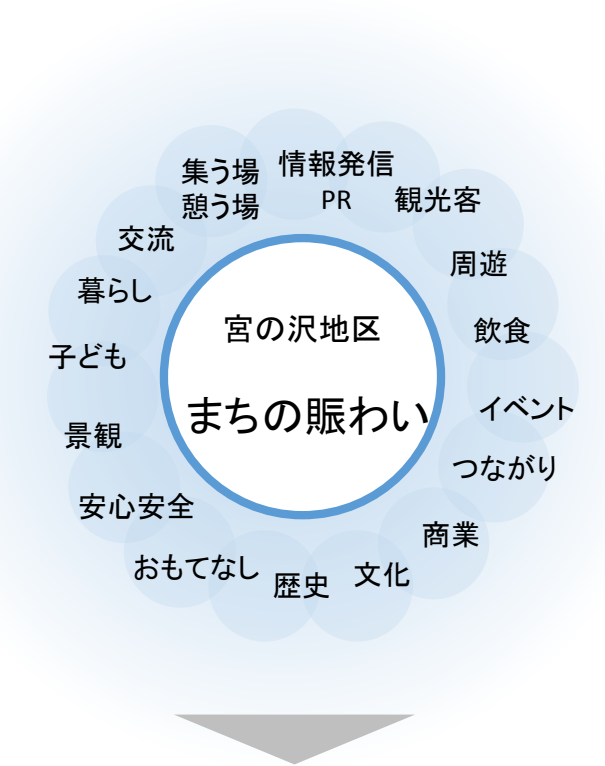
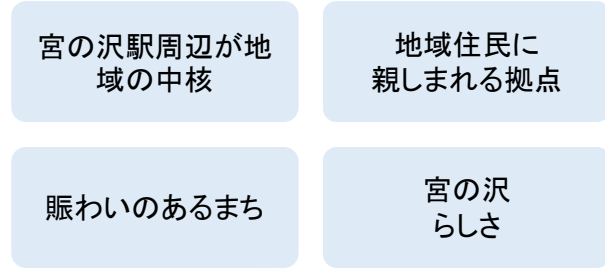
まずは
これから

宮の沢の現状及び課題等

- **地域特性**
 - アジア圏からの観光客増加
 - 交通拠点
 - 高い利便性
- **地域資源**
 - 【交通】地下鉄駅など
 - 【観光】白い恋人パーク、コンサドーレなど
 - 【商業】西友、商店会、パン・スイーツ屋など
 - 【暮らし】ちえりあ、大野病院、メディカルビル
 - 【歴史】上手稲神社、手稲記念館
 - 【自然】宮丘公園

- **まちの課題**
 - 地域資源の活用とPRの必要性
 - 集う・交流する・滞留する機能が不足
 - まちの賑わい・活気が感じられない
 - 地域への愛着、担い手づくり

宮の沢の将来イメージ



《ハレとケ、にぎわい》
 ハレ：特別な行事がある日のことを指す。
 ケ：普通の日、日常のことを指す。

“賑わい”を支えるまちづくり活動

- **宮の沢賑わいカレンダーの作成**
 - 既存の活動、イベントが団体間で共有されていないため、活動やイベントのスケジュールが分かるカレンダーを作成する。
 - 宮の沢地域内のイベントを洗い出し、季節の行事などを掲載すると良い。
 - 月1回や週1回、何かしらのイベントが宮の沢で、行われていることを発信したり、人を呼びこむ仕掛けの一つにもなるのではないか。

実践に向けて検討が必要なこと(例)

 - どんな情報を載せるか
 - 誰に作ってもらうか(または、一緒に作るか)
 - どこに、誰向けに配布するか など
- **宮の沢賑わいマップの作成**
 - 学生(地区内に居住する高校生、大学生など)に参加してもらって、地域の情報を広めるマップを作る。
 - まちのランドマーク、目的地までの距離が記載されると良い。
 - パン、スイーツ店、その他飲食店版などとあると良い。
 - マップは、スタンプラリー(商店会とも連携)など、まち歩きなどのイベントにも活用できるのではないか。
 - 「ちえりあ祭り」で配布してはどうか。

実践に向けて検討が必要なこと(例)

 - マップ掲載の範囲(例：駅～半径3km)
 - 学生との連携、マップづくりの広報
 - 配布先、活用方法 など
- **ちえりあ広場を活用したミニマルシェ**
 - ちえりあ屋外広場を活用して、宮の沢の観光資源、地域のお店などを紹介するミニマルシェを行う。
 - 「ちえりあ祭り」と連携して行えると良い。
 - マップもミニマルシェ会場で配布してはどうか。
 - マップに掲載される店舗に出店してもらい、PRしてもらう。
 - ミニマルシェを「宮の沢でいつも何かやっている」のきっかけにする。

実践に向けて検討が必要なこと(例)

 - ちえりあ祭りとの連携
 - 出店してもらう店舗の選択・調整
 - 広場のレイアウト、広報 など

取組アイデア

- **地域資源の活用**
 - ちえりあで休憩して、その後周辺施設に足を伸ばしてもらおう工夫(気軽に立ち寄ることができる動線上に飲食店)
 - 地域住民だけが知る地域資源の掘り起こしと発信
 - 地域資源を線でつなぎ観光スポットとして売り出す
 - 地域住民が気軽に集まることができるスポットとしての白い恋人パーク
 - 子どもが楽しむことができるミュージアム
 - コンサドーレやファイターズとコラボしたお守りの販売
 - 西のコンサ通りを地域のシンボルにする
- **情報発信**
 - 上手稲神社や手稲記念館などの地域資源のPR(上手稲神社の鳥居から日の出が見えることなども)
 - SNSを活用した地域情報の発信
 - マップづくり(多言語化や高校生と連携)
 - イベントボードや店舗の電光ビジョンなどの活用
 - コンサドーレのフラッグの設置(八戸のうわさプロジェクトのような仕掛け)
 - バスターミナルでの情報発信(バス会社と連携)
- **環境整備・案内サイン**
 - 地域資源へ誘導するわかりやすい案内サイン
 - WiFiの整備(外国人観光客にも対応)
- **交流の場や機会づくり**
 - 住民や来訪者に滞留してもらうために飲食できる場所をつくる
- **イベント**
 - 石屋製菓と児童会館との連携・協力によるお祭りの開催
 - 様々な団体が連携したイベントの年数回の開催(ちえりあフェスティバルでのビアガーデンやステージイベントなど)
 - ちえりあ広場の有効活用(生涯学習・まちづくり関連であれば利用可能)
 - 年間を通じた毎月イベントの開催(そこに行けば何かやっているように)
 - イベント情報の集約と発信(イベントカレンダー)
- **子ども**
 - 子どもが企画運営する児童会館祭りの開催
 - 冬季や雨の日も子どもが遊べる広いスペースの確保
- **若い世代との連携**
 - 高校や若者活動センターとの協力